

平成 25 年度 決算に係る
定期監査
調査書
決算審査

平成 26 年 8 月

教育委員会高等学校課

1	前年度指摘事項等に対する措置等.....	1 頁
(1)	指摘事項	
(2)	監査意見	
(3)	決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況.....	2
3	組織及び業務調べ.....	2
4	職員の定員、現員調べ.....	3
5	役付職員の調べ.....	3
6	主な事業に関する調べ.....	4
7	決算調書（総括表）.....	10
8	事業別実施状況調べ.....	11
9	予備費の充用調べ.....	18
10	繰越関係調べ.....	18
(1)	継続費過次繰越調べ	
(2)	繰越明許費調べ	
(3)	事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ.....	19
12	収入事務処理状況調べ.....	19
(1)	分担金及び負担金	
(2)	使用料	
(3)	手数料	
(4)	財産収入	
(5)	寄付金	
(6)	諸収入	
(7)	現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ.....	22
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ.....	23
15	税外収入不納欠損額調べ.....	23
16	債務負担行為の状況調べ.....	24
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ.....	25
(1)	負担金	
(2)	補助金	
(2-2)	補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
(3)	交付金	
(4)	委託料	
(4-2)	委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ.....	32
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）.....	32
19	財産に関する調べ.....	32
(1)	公有財産	
(2)	金券類の受払状況	
(3)	基金	
(4)	債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ.....	35
(1)	土地及び建物	
(2)	物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ.....	35
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ.....	35
(1)	職員住宅	
(2)	職員駐車場調べ	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ.....	35
24	寄附物件の受納状況調べ.....	35
25	備品の処分状況調べ.....	36
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ.....	36
27	貸付金等状況調べ.....	36
(1)	総括表	
(2)	償還状況	
○	意見、要望等	36

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監査意見	処理状況等
<p>[高等学校生徒への特別な支援に係る情報提供について]</p> <p>発達障がいのある児童生徒の適切な支援を図るために、個別の教育支援計画の作成が重要であり、切れ目がない一貫した支援のためには学校間で個人の情報を引き継ぐ必要がある。</p> <p>しかし、平成23年度決算に係る定期監査で、個別の教育支援計画の高等学校への引継状況を十分に把握していない状況が見受けられた。このため、中学校から高等学校への情報提供が行われていない実態やその原因を把握し、円滑な情報提供に向けた仕組みづくりを検討されたい旨、意見を述べたところであるが、未だその実態や原因の把握は十分になされていない。</p> <p>については、早急にその実態や原因の把握のための調査を実施するとともに、個別の教育支援計画の高等学校への引継を円滑に行われたい。</p>	<p>中学校から高校への支援計画を活用した引継が行われていない原因としては、保護者の了解が得られない場合や、中学校での支援計画（保護者の了解が得られた生徒に対して作成）の作成率が低いことなどのほか、高校入学を機会に、本人・保護者が特別な支援なしで高校生活を送り、社会的自立に向けて引継を望まない場合などによることが、これまでにあげられている。</p> <p>特別支援教育課が平成25年10月に実施した「発達障がいを含む障がいのある児童生徒への指導・支援についての取組みについて」の調査によると、中学校から高校に引継が行われなかつた原因として、</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者の障がい受容が難しいことや作成と活用のメリットが理解されていないことの割合が高く、支援計画の作成に至っていない・中学校側が必要ないと判断しているケースがある <p>といったことが新たにわかった。</p> <p>高校では、従来より、小中高の特別支援教育主任の悉皆研修を実施し、当該研修において引継の重要性を周知したり、高校における特別支援教育の取組状況を報告して、安心して高校へ引き継いでいただくよう中学校担当者への投げかけを行っているほか、個別の教育支援計画作成にかかるリーフレットを作成・配布し、保護者への啓発を行っている。</p> <p>また現在は、高等学校課の「高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク事業」において、東中西部地区毎に各高校の特別支援教育担当者や関係機関、専門家、特別支援学校の高校担当者等が参加して研修や事例検討、支援に関する協議（ネットワーク会議）等を実施し、連携を深めて、高校における支援の充実を進めているところである。</p> <p>これらの取組により、中学校から高校への支援計画の引継は、県立高校のみならず、私立高校へも広がってきており、平成26年度では県立、私立合わせて93.1%となり、引継取組に対する中学校及び高校の理解は浸透してきている。</p>

(3) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>[今後の県立高等学校改革のあり方について]</p> <p>平成25年3月の県内の中学校卒業者数は5,467人ですが、平成40年3月には4,595人となり、今後、15年間で中学校卒業生が約900人減少するとの推計がなされています。特に郡部の生徒減少が深刻であり、このままでは、郡部の高等学校の存続が危ぶまれます。</p> <p>については、こうした郡部の高等学校に全国から生徒を呼び込むことも考慮し、地域と一体となって、魅力向上と特色ある学校づくりをさらに進めるとともに、全国への情報発信に努めるべきであります。</p>	<p>平成25年度から平成30年度までの県立高等学校のあり方については、平成24年度に策定した「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」に基づいて具体的な検討を行っているところであり、昨年度、日野高校を対象に地域と連携した学校の魅力づくりについて検討したところ。</p> <p>また、平成31年度以降についても、「次代を担う生徒を育成するための魅力と活力にあふれる本県高等学校教育のあり方」について、県教育審議会に諮問し、県人口や生徒数の減少に対応した高校のあり方等について審議していただいているところ。</p> <p>今後の生徒減少期にあっても、特色ある取組で全国から生徒を受け入れている他県の先進事例も参考とするなど、地域との連携も視野に入れながら、教育の質的向上及び魅力や活力のある学校づくりに努めていく。</p> <p>なお、日野郡をはじめとして地域と学校が一体となって高校の魅力化を考える動きが出てきており、このような地域と連携した取組をより一層推進することにより、魅力や活力ある学校づくりに努めていく。</p>

3 組織及び業務調べ

課 名	係 名	課 の 主 な 所 掌 事 務
高等學校課	学 事 担 当	県立高等学校の授業料に関する事。
	管 理 担 当	県立高等学校の設置、廃止及び管理に関する事。 県立高等学校の教職員の定数及び任免その他の人事に関する事。 県立高等学校の教職員の組織する職員団体に関する事。
	指 導 担 当	県立高等学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する事。 県立高等学校の入学者選抜に関する事。 県立高等学校の教科用図書及び教材の取扱いに関する事。 高等学校卒業程度認定試験に関する事。
	近畿高等学校総合文化祭準備担当	第35回近畿高等学校総合文化祭の開催準備に関する事。
	高校教育企画室	今後の県立高等学校の在り方に関する事 学力向上に関する事
	英語教育推進室	外国語の教科指導に関する事 国際理解教育及び国際交流に関する事 海外留学支援に関する事 外国語指導助手に関する事

4 職員の定員、現員調べ

区分 種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	26.4.1 現在	25.4.1 現在	
定 員	2 8	2 7					2 8	2 7	
現 員	2 8	2 7					2 8	2 7	
過不足(△)	0	0					0	0	
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	5	4					5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・一般事務（1名） ・事務補助（2名） ・まんが王国とつり応援団コーディネーター ・A L T 支援職員

5 役付職員の調べ

(平成26年8月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
高等學校課長	御船 斎紀	年 月 0 4	(3年4月)
高校教育企画室長	中島 靖雄	0 4	(3年4月)
課長補佐	横山 順一	2 4	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
英語教育推進事業	ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 「小・中・高一貫して見通しを持った英語教育」を推進するために、英語教育推進室を設置し、組織的・計画的に英語教育に取り組むことで、鳥取県の子どもたちの英語力の向上を図る。
決算額 230千円	(イ) 事業の実施状況 (1) 英語教育推進委員会の開催 ・外部有識者（大学教員）、高等学校教員、中学校教員、小学校教員が、英語の学習到達度を測るための指標、中学生向け英語副教材作成等について協議した。（年3回） (2) 英語の学習到達度を測るための指標検討 ・英語教育推進委員会で指標の原案について検討した。 (3) 中学生向け英語副教材の作成 ・高等学校英語教員と中学校英語教員が協働して、教材を作成した。 「シャトル・チャットで覚える基本英文」 300部作成 小・中・高教員等に配布 電子データをホームページで公開し、中学生等が授業等で活用 (4) 韓国江原外國語教育院との連携 ・中学校教員1名を2週間程度派遣し、江原道の教員と共に英語力向上のための研修を受けた。
(財源内訳) 一般財源 230千円	イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成25年度新規事業
○将来ビジョン VI 育む (2) 「人財・鳥取」の推進	ウ 成果 ○英語教育推進委員会では、校種の異なる英語教育関係者から、それぞれの観点で英語教育について意見をいただき、めざすべき方向性についての共通理解が図られた。 ○中学生向け英語副教材を作成し、小学校、中学校、高等学校へ配布することができた。 ○江原外國語教育院へ派遣した英語教員は、県内の英語教育推進リーダーになった。
○政策項目 2 少人数学級の拡充など 学力向上のプログラム	エ 課題 ○英語教育推進委員会で共通理解が図られた点を県内の英語教員へ周知できていない。今後、広報活動を積極的に行う必要がある。 ○配布した中学生向け副教材が各学校で積極的に活用できるような取組が必要である。 ○英語の学習到達度を測るための指標については、昨年度は、最終的な案の完成まで至らなかったので、本年度も引き続き協議を行う。

事業名	概要																				
I C Tを活用した学習環境の研究	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 本県が進めている協調学習(※)を中心とした高校の授業改革をさらに効果的に進めるため、I C Tを活用した協調学習のあり方を静岡大学と共同研究し、全国に先駆けた取組で本県高校生の学力向上を図る。 ※協調学習：生徒が数人のグループに分かれ、自分たちで話し合い、考えを統合して主体的に学び合う「学習者」を中心とした学習。</p>																				
決算額 14,414千円 (財源内訳)	<p>(イ) 事業の実施状況 (1) 契約内容 ①契約先：国立大学法人静岡大学 ②委託期間：平成25年4月23日～平成27年3月31日 ③研究対象（モデル校）：鳥取西高等学校、智頭農林高等学校 (2) 活用等の状況</p>																				
○将来ビジョン VI 育む (2) 「人財・鳥取」の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>学校</th> <th>実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年8月19日</td> <td>鳥取西</td> <td>機器導入 (iPad 46台等)</td> </tr> <tr> <td>平成25年8月23日</td> <td>智頭農林</td> <td>機器導入 (iPad 32台等)</td> </tr> <tr> <td>夏季休業終了後</td> <td>鳥取西 智頭農林</td> <td>生徒が活用を開始</td> </tr> <tr> <td>平成25年9月17日</td> <td>鳥取西</td> <td rowspan="2">公開授業 (I C Tを活用)</td> </tr> <tr> <td>平成25年10月8日</td> <td>智頭農林</td> </tr> <tr> <td>平成25年11月8日</td> <td>鳥取西</td> <td>学びの文化祭において公開授業及びシンポジウムを開催</td> </tr> </tbody> </table>	日付	学校	実施状況	平成25年8月19日	鳥取西	機器導入 (iPad 46台等)	平成25年8月23日	智頭農林	機器導入 (iPad 32台等)	夏季休業終了後	鳥取西 智頭農林	生徒が活用を開始	平成25年9月17日	鳥取西	公開授業 (I C Tを活用)	平成25年10月8日	智頭農林	平成25年11月8日	鳥取西	学びの文化祭において公開授業及びシンポジウムを開催
日付	学校	実施状況																			
平成25年8月19日	鳥取西	機器導入 (iPad 46台等)																			
平成25年8月23日	智頭農林	機器導入 (iPad 32台等)																			
夏季休業終了後	鳥取西 智頭農林	生徒が活用を開始																			
平成25年9月17日	鳥取西	公開授業 (I C Tを活用)																			
平成25年10月8日	智頭農林																				
平成25年11月8日	鳥取西	学びの文化祭において公開授業及びシンポジウムを開催																			
○政策項目 2 少人数学級の拡充など 学力向上のプログラム	<p>※以降、両校で授業実践に取組み、智頭農林高校では年度末までに延べ68回タブレット端末を用いた授業を行った。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成25年度新規事業</p> <p>ウ 成果 モデル校においては、授業中の生徒の発言が増えるなど、協調学習の狙いである能動的な学びが深まるとともに、実習などでもタブレットの活用が広がり、生徒や教員のI C T活用能力の高まりも見られている。</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの道具として機器が十分活用できるための環境整備について、モデル校への頻繁な聞き取りが必要である。 ・事業終了後（平成27年度以降）の当事業の成果の普及方法について、I C Tの活用方策を検討している教育センター等と調整しながら進めていく必要がある。 																				

事業名	概要
近畿高等学校総合文化祭鳥取大会準備事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 高等学校の文化芸術活動の発展・充実と全国レベルの文化部養成のため、平成27年度に開催される「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」を大きな契機ととらえ、その円滑な実施と成功的為の準備を行う。</p>
決算額 239千円	<p>(イ) 事業の実施状況 (1) 準備委員会の設立・開催 大会の企画・運営に関する必要事項の協議・決定を行う準備委員会を11月に設立し、11月と2月に開催した。</p> <p>(2) 準備運営委員会の開催 実務者が集まり、総合開会行事の企画・運営と各部会の企画・調整を行う準備運営委員会を12月に開催した。</p> <p>(3) 鳥取県高等学校文化連盟等との調整 県内高等学校の文化振興を担っている「鳥取県高等学校文化連盟」と役割分担を行い、準備体制を整えた。 また、会場の早期予約、本県独自のまんが部門の開催に向けた他府県との調整などを行った</p>
○将来ビジョン VI 育む (2) 「人財・鳥取」の推進	<p>【鳥取大会の概要（案）】 日 程：平成27年11月14日（土）から11月22日（日） 会 場：鳥取市、倉吉市、米子市、境港市、大山町、伯耆町 開催部門：総合開会行事、日本音楽、合唱一器楽・管弦楽、吹奏楽、 郷土芸能一吟詠剣詩舞、マーチングバンド・バトントワリング、 演劇、美術・工芸、書道、写真、新聞、放送、囲碁、将棋、 小倉百人一首かるた、まんが（鳥取県独自） ※部門によっては、特別支援学校の参加を検討中</p>
○政策項目 該当なし	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成25年度新規事業</p> <p>ウ 成 果 関係学校長を中心とする準備委員会、実務者を中心とする準備運営委員会を開催し、大会開催に向けて協力体制・準備体制が整った。</p> <p>エ 課 題 部員数や活動している学校が少なかったり、経験のある顧問が少なく、準備に不安を抱えている部門があり、事務局のサポートが必要。 鳥取県独自部門の「まんが」については、組織的な活動をしている府県が他にないため、県外からの参加に向けての工夫が必要。</p>

事業名	概要
高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 県内3地区で各地区の県立高等学校のうち1校を地区内の高等学校における特別な支援を必要とする生徒を支援していくための「主幹校」とし、「高等学校特別支援コーディネーター」を配置して、発達障がいのある生徒への指導・支援の充実を図る。</p>
決算額 389千円 (財源内訳)	<p>(イ) 事業の実施状況 (1) 支援相談会 各地区毎に、主幹校特別支援コーディネーターが中心となって、支援相談会（勉強会、講演、情報交換、意見交換等）を企画し実施。 ①東部地区：関係機関の役割及び高校の取組紹介、関係機関等を招いての事例検討、主幹校での研究授業と大学教員による指導助言等 ②中部地区：専門家による講義、各校の課題と取組に関する意見交換等 ③西部地区：関係機関等を招いての事例検討、大学教員や医師による講義・個別相談等</p>
一般財源 389千円	<p>(2) 学校訪問 発達障がい教育拠点である特別支援学校の高校担当者やLD等専門員とともに、ネットワーク事業の主幹校の特別支援コーディネーターが県立高校を適宜訪問し、支援に関する情報交換や助言等を実施。</p>
○将来ビジョン VI 育む (2) 「人財・鳥取」の推進	<p>(3) 生徒支援ネットワーク会議 東中西部各地区毎に年1～2回程度、関係機関等が一堂に会して、生徒の社会的自立に向けた効果的な支援等について協議。 ○主なメンバー：高校特別支援教育担当者、特別支援学校高校担当者、障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、障害者職業センター、若者サポートステーション、LD等専門員スクールソーシャルワーカー、医師、臨床心理士など</p>
○政策項目 該当なし	<p>(4) 高等学校特別支援教育連絡会議 福祉保健部子ども発達支援課と合同で、行政機関、幼保小中高関係者、保護者、企業、福祉事業所、障がい者福祉機関、支援機関、県民の方等を対象に、講演、関係者等による取組報告や分科会での意見交換などを全県規模で実施。広く県民へも参加を呼びかけるため、連絡会議という名称は用いずに「発達障がい支援体制整備推進研修会並びに高等学校特別支援教育研修会」として開催した。</p>
	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成25年度新規事業</p> <p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に、高等学校における特別支援教育の取組について情報発信し理解を得る機会となった。 ・関係機関の担う業務について、高校担当者の理解が深まり活用が進んでいる。 ・関係機関等からの指導助言で、各高校での支援の視点や具体的な支援が推進される。 ・ネットワーク事業をきっかけにして、関係機関と学校、学校同士などの連携が増え、生徒支援の充実につながっている。 ・ネットワーク事業を機会に、担当者の校内支援に関する悩みが解消されている例がある。また、担当者のスキルアップにより、各高校の特別支援教育に対する意識が変容したり組織体制が充実しつつある。 ・関係機関も高校との連携の必要性を感じており、生徒の社会的自立に向けてともに取り組もうという意識が高まっている。

事業名	概要																					
高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク事業 (つづき)	<p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の壁はあるものの、中高引継件数は増えているので、校種を超えて生徒を育していく、支援をつなぐという意識を一層高めていくことが重要である。 ・事業終了後も、持続できる支援や取組体制を各校で構築する必要がある。 ・特別支援教育推進のリーダーとなる教員の一層の専門性向上が必要である。 																					
高等学校改革推進事業 決算額 137千円 (財源内訳)	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>平成30年度までの県立高等学校の在り方について、平成24年度に策定した基本方針に基づき必要な学級減等の具体的検討を行うとともに、平成31年度以降も生徒数が大幅に減少することが予想されていることから、31年度以降の県立高等学校の在り方についてもあわせて検討を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 平成27年度県立高等学校の学級減の決定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th><th>平成26年度</th><th>平成27年度</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倉吉西</td><td>普通科④</td><td>普通科③</td><td>普通学科を1学級減じる。</td></tr> </tbody> </table> <p>※丸囲み数字は学級数</p> <p>(2) 平成31年度以降の県立高等学校の在り方</p> <p>①県教育審議会への諮問</p> <p>県教育委員会の中島教育委員長が、県教育審議会の矢部会長に対して以下のとおり諮問を行った。</p> <p>(日程) 平成25年4月23日</p> <p>(内容) 次代を担う生徒を育成するための魅力と活力にあふれる本県高等学校教育の在り方について</p> <p>1 グローバル化や情報化、少子高齢化がより一層進展するなど社会が大きく変化する中で、生きる力を育み、時代の要請に応えていく高等学校教育の在り方</p> <p>2 県人口や生徒数の減少に対応した高等学校の在り方</p>	学校名	平成26年度	平成27年度	備考	倉吉西	普通科④	普通科③	普通学科を1学級減じる。													
学校名	平成26年度	平成27年度	備考																			
倉吉西	普通科④	普通科③	普通学科を1学級減じる。																			
一般財源 137千円 ○将来ビジョン VI 育む (2) ○政策項目 該当なし	<p>②県教育審議会の開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th><th>場所</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年6月4日(火) 〔第1回〕</td><td>白兎会館</td><td><学校等教育分科会：出席11名> ・今後の県立高等学校の在り方 他</td></tr> <tr> <td>平成25年9月27日(金) 〔第2回〕</td><td>県庁</td><td><学校等教育分科会：出席13名> ・今後の県立高等学校の在り方 他</td></tr> <tr> <td>平成25年11月11日(月) 〔第3回〕</td><td>県庁</td><td><学校等教育分科会：出席9名> ・今後の県立高等学校の在り方 他</td></tr> <tr> <td>平成25年12月19日(木) 〔第4回〕</td><td>白兎会館</td><td><学校等教育分科会：出席10名> ・今後の県立高等学校の在り方 他</td></tr> <tr> <td>平成26年1月10日(金) 〔第5回〕</td><td>白兎会館</td><td><学校等教育分科会：出席9名> ・今後の県立高等学校の在り方 他</td></tr> <tr> <td>平成26年2月17日(月) 〔第6回〕</td><td>白兎会館</td><td><学校等教育分科会：出席11名> ・今後の県立高等学校の在り方 他</td></tr> </tbody> </table> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度までの高校の在り方については、関係者と十分に協議を行いながら検討を進めた。 ・平成31年度以降の高校の在り方については、県教育審議会学校等教育分科会を中心に意見を聴取した。 	日付	場所	内容	平成25年6月4日(火) 〔第1回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席11名> ・今後の県立高等学校の在り方 他	平成25年9月27日(金) 〔第2回〕	県庁	<学校等教育分科会：出席13名> ・今後の県立高等学校の在り方 他	平成25年11月11日(月) 〔第3回〕	県庁	<学校等教育分科会：出席9名> ・今後の県立高等学校の在り方 他	平成25年12月19日(木) 〔第4回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席10名> ・今後の県立高等学校の在り方 他	平成26年1月10日(金) 〔第5回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席9名> ・今後の県立高等学校の在り方 他	平成26年2月17日(月) 〔第6回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席11名> ・今後の県立高等学校の在り方 他
日付	場所	内容																				
平成25年6月4日(火) 〔第1回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席11名> ・今後の県立高等学校の在り方 他																				
平成25年9月27日(金) 〔第2回〕	県庁	<学校等教育分科会：出席13名> ・今後の県立高等学校の在り方 他																				
平成25年11月11日(月) 〔第3回〕	県庁	<学校等教育分科会：出席9名> ・今後の県立高等学校の在り方 他																				
平成25年12月19日(木) 〔第4回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席10名> ・今後の県立高等学校の在り方 他																				
平成26年1月10日(金) 〔第5回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席9名> ・今後の県立高等学校の在り方 他																				
平成26年2月17日(月) 〔第6回〕	白兎会館	<学校等教育分科会：出席11名> ・今後の県立高等学校の在り方 他																				

事業名	概要
高等学校改革推進事業 (つづき)	<p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（平成25年度～平成30年度）に基づいて、平成27年度に実施する学級減を決定した。 平成31年度以降の高校の在り方については、県教育審議会学校等教育分科会を6回開催して審議し、答申の項目案を決定した。 <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本方針に基づき、平成30年度までの高等学校の在り方について、引き続き、具現化を進めていく必要がある。 平成31年度以降の県立高校の在り方については、平成26年9月頃に県教育審議会が出す答申の内容を踏まえ、関係機関等からも幅広く意見を伺いながら基本方針を作成する必要がある。
地域と連携した高等学校的魅力づくり推進・支援事業	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>中山間地域の高校において、学校と地域が連携して高校の活性化を図る取組を行い、特色や魅力のある高等学校づくりを推進する。</p> <p>実施校：日野高等学校</p>
決算額 381千円 (財源内訳)	<p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 高校の魅力化に係る検討</p> <p>島根県立隠岐島前高等学校の魅力化プロデューサーである岩本悠氏を招へいし、地域と連携した学校の魅力づくりの方策等について指導助言を受けた。 (1回目：5/15～16、2回目：7/5、3回目：8/5～6、4回目：2/7)</p> <p>(2) 日野高校と地域の未来を考えるフォーラムの開催</p> <p>先進県の事例に学びながら、高校と地域が連携して魅力と活力ある学校と地域を創出する方策を考えるフォーラムを開催した。</p> <p>(日 程) 11月16日(土) (場 所) 日野高等学校 体育館 (参加者) 約100名(地域住民、教育関係者、行政関係者等) (内 容) 講演：隠岐島前高校魅力化プロデューサー 岩本氏 パネルディスカッション：日野町長、隠岐郡海士町財政課長 兵庫県立村岡高等学校長、兵庫県立千種高等学校長</p>
一般財源 381千円 ○将来ビジョン VI 育む (2) 「人財・鳥取」の推進	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成25年度新規事業</p>
○政策項目 該当なし	<p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩本氏に指導助言や講演等を行っていただいたことで、日野高校の魅力化に対する地域や学校の気運を高めることができた。 平成26年度から、日野郡3町が主体となって高校魅力化コーディネーター(仮称)を設置し、高校と連携しながら魅力化方策を検討することが決定した。 <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力化方策をより効率的に検討するため、上記コーディネーターを含む関係者で構成する組織(プロジェクトチーム等)を設置して進めていくことが必要である。 日野高校における取組や成果を、他の中山間地域等の学校や地域にも普及して、本県の県立高等学校の特色や魅力づくりをより一層推進していくことが必要である。

7 決算調書

(総括表) (上段は決算額、下段()はうち高等学校課歳出充当分)

区分	科目	予 算			決算額の内訳			備考
		当初予算額	補正予算額	現 費	決算額	本 庁	出納機関	
		繰越繰越額	累計	B	C	A - B - C		
教職員人事費	12,137,000	0	0	12,137,000	10,732,315	0	0	1,404,685
教育運送費	73,553,000	0	0	73,553,000	69,159,505	27,933,041	41,226,464	0
教育振興費	286,045,000	△6,759,000	0	279,286,000	210,623,301	79,772,251	130,851,050	0
合 計	371,735,000	△6,759,000	0	364,976,000	290,515,121	118,437,607	172,077,514	0
教育使用料	80,000	0	0	80,000	24,560	0	24,560	0
教育手数料	37,828,000 (4,345,000)	△1,650,000 (0)	0	36,178,000 (4,345,000)	35,506,640 (3,800,386)	35,349,890 (3,800,386)	156,750 (0)	0
教育費負担金	1,274,219,000	△7,123,000	0	1,267,096,000	1,234,331,487	1,234,331,487	0	671,360 (544,614)
教育費国庫補助金	8,364,000	△5,249,000	0	3,115,000	1,654,770	1,654,770	0	32,764,513
教育費委託金	2,973,000	0	0	2,973,000	1,471,350	1,471,350	0	1,501,650
内 雑 計	4,446,000	△10,000	0	4,436,000	1,944,978	203,559	1,741,419	0
一般県費充当	△956,175,000	7,273,000	0	△948,902,000	△984,418,664	△1,154,573,449	170,154,785	0
合 計	371,735,000	△6,759,000	0	364,976,000	290,515,121	118,437,607	172,077,514	0
							74,460,879	

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																										
(教職員人事費) 教職員人事管理費	6,224,000	4,875,247	0	1,348,753	適切な学校管理・運営を期するため、管理主事による学校訪問等を行い、高等学校への指導を行った。 学校教育の充実と教育水準の向上に資するための教職員人事に努めた。 鳥取県教育委員会指導改善研修教員審査委員会を開催し、過去に認定解除された教員の状況、指導改善研修について協議した。																										
県立学校勤務時間管理サポートシステム整備事業	5,913,000	5,857,068	0	55,932	教職員の勤務時間等を正確に把握するための県立学校勤務時間管理サポートシステムについて、運用が開始されていない県立学校に導入するため、必要な機器の整備を行った。（県立学校14校）																										
目 計	12,137,000	10,732,315	0	1,404,685																											
(教育連絡調整費) (主)近畿高等学校総合文化祭鳥取大会開催準備事業 (主)高等学校改革推進事業 県立学校裁量予算事業（学校独自事業） 〔予算額及び決算額は教育環境課で計上〕 高等学校教育企画費 入学選抜諸費	400,000 137,000 54,937,000 4,345,000	239,385 136,890 54,023,206 3,800,386	0 0 0 0	160,615 110 913,794 544,614	学校長が独自性を発揮した学校経営ができるよう、学校運営費、教職員旅費、学校独自事業の総額を一括して配分し、学校長裁量による予算執行を行った。 各学校の課題解決のための臨機な対応ができ、実施に当たっての費用対効果の検証、説明責任を果たすなど、学校の自主・自立に繋がっている。 県立高等学校に対して指導・助言を行うとともに、関係団体への助成を行った。 平成26年度県立高等学校入学者等の選抜を実施した。																										
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <th>課程</th> <th>定員</th> <th>志願者</th> <th>受検者</th> <th>合格者</th> </tr> <tr> <td>全日制</td> <td>4,182</td> <td>4,473</td> <td>4,375</td> <td>3,993</td> </tr> <tr> <td>定時制</td> <td>220</td> <td>146</td> <td>143</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,402</td> <td>4,619</td> <td>4,518</td> <td>4,099</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td>願書受付(一般)</td> <td>26.2.21~2.25</td> </tr> <tr> <td>入学者選抜検査(一般)</td> <td>26.3.6~3.7</td> </tr> <tr> <td>合格発表</td> <td>26.3.14</td> </tr> </table>						課程	定員	志願者	受検者	合格者	全日制	4,182	4,473	4,375	3,993	定時制	220	146	143	106	計	4,402	4,619	4,518	4,099	願書受付(一般)	26.2.21~2.25	入学者選抜検査(一般)	26.3.6~3.7	合格発表	26.3.14
課程	定員	志願者	受検者	合格者																											
全日制	4,182	4,473	4,375	3,993																											
定時制	220	146	143	106																											
計	4,402	4,619	4,518	4,099																											
願書受付(一般)	26.2.21~2.25																														
入学者選抜検査(一般)	26.3.6~3.7																														
合格発表	26.3.14																														

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
県立学校第三者評価推進事業	1,416,000	892,450	0	523,550	県立学校8校で県教育委員会が委嘱した有識者による第三者評価を実施し、よりよい学校づくりに努めている。
教職員派遣研修費	12,318,000	10,067,188	0	2,250,812	
中央研修講座への派遣 各種研修会・講習会への派遣		指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。			
内地留学・新教育大学大学院への派遣 L D等専門員養成派遣	区分		派遣先		人数
	内地留学		鳥取大学(3名) 内1名は発達障がいの生徒支援等に対応する教職員の養成派遣		3人
		新教育大学大学院		兵庫教育大学大学院(2年目1名、1年目1名)	
<p>* 発達障がいの生徒支援等に対応する教職員の養成派遣 P D D(広汎性発達障害)やL D(学習障害)の生徒等に適切に対応ができるよう、高等学校の教員を大学へ派遣し、生徒支援に対応する教職員を養成する。</p>					
目計	73,553,000	69,159,505	0	4,393,495	
(教育振興費)					
未来を拓く学力形成事業	9,654,000	6,644,022	0	3,009,978	県や学校の枠を超えた連携を深め、教員同士が協働して教科指導力を向上させ授業改善を図るための取組や、切磋琢磨しながら進路実現に向けて果敢にチャレンジする生徒を育成するための取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート教員育成 ・県外教員との授業実践・研究交流事業 ・学校連携チャレンジサポート事業 ・高校生合同勉強合宿 ・理数課題研究等発表会 ・「科学の甲子園」鳥取県大会 ・言語技術教育推進事業
外国語教育改善指導費	118,206,000	108,873,967	0	9,332,033	語学指導を行う外国青年を県立学校に配置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語 20人 ・中国語 1人 ・韓国語 2人 英語担当者の資質の向上を図るために、英語圏の大学への研修派遣を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月派遣 アリカ デンバ-大学 1名 トリニティカレッジ 1名

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果									
外部人財活用事業	6,984,000	5,287,695	0	1,696,305	<p>県立高校・大学教員交流事業 高等学校の生徒が大学教官の講義を受けることにより、学ぶことへの意欲の高揚を図るとともに、将来の進路目標に向かって学習する態度の育成に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>実施校</th><th>教官数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学</td><td>9校</td><td>延19名</td></tr> <tr> <td>鳥取環境大学</td><td>4校</td><td>延10名</td></tr> </tbody> </table>	区分	実施校	教官数	鳥取大学	9校	延19名	鳥取環境大学	4校	延10名
区分	実施校	教官数												
鳥取大学	9校	延19名												
鳥取環境大学	4校	延10名												
地域を担う人財育成事業	12,536,000	5,461,938	0	7,074,062	<p>社会人講師活用事業 生徒の興味・関心に応じた多様な教育を展開し、専門的な知識・技術を有する社会人を講師として招へいした。</p> <table> <tr> <td>県立高校</td><td>22校</td></tr> <tr> <td>延べ</td><td>818時間</td></tr> </table> <p>鳥取県版キャリア教育推進会議(年2回) ・高等学校におけるキャリア教育のあり方及び具体的な施策に関する事項の提言 地域の産業界と学校のネットワーク会議(7校で実施) ・学校が地域の産業界とのネットワークを構築し、経済・産業情勢の変化、及び産業界のニーズに、教育を迅速に対応させる。 専門高校活動成果発表会 (専門高校9校参加、場所:米子コンベンションセンター) ・専門高校の活動の成果を各学校間で共有し、各専門高校の教育活動の質を向上させるとともに、実社会で通用する生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成。 とっとリーダー育成プロジェクト(5校生徒18名参加) ・専門高校で学んだ専門性と、それを使って実際に結果を出せる能力(分析力、コミュニケーション能力、判断力、プレゼンテーション能力)など、社会に出てどこの分野でも通用する力を育成するため、選抜された高校生が大学において、大学生、社会人とともに事例(ケース)を使った学習、ケーススタディを行った。 ○宅配とっとリキャリア塾 96企画(社会人による講演等) 早期離職防止のためのハンドブック作成 ・5,832部配付 (対象:県立私立高校、特別支援学校高等部のすべての3年生)</p>	県立高校	22校	延べ	818時間					
県立高校	22校													
延べ	818時間													

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																																																
キャリア発達支援事業	4,839,000	3,398,520	0	1,440,480	福祉資格取得の促進 鳥取県ヘルプメイト資格の認定 認定者 6校 34名 介護職員初任者研修の支援 実施校 4校 職業教育技術顕彰の実施 就職支援相談員の配置 17校 17名 農業後継者のつどいへの助成 参加生徒 4校 16名 県外先進地農家への派遣 派遣生徒 1校 7名																																																
定時制・通信制教育振興費	1,227,000	614,943	0	612,057	高等学校の定時制・通信制課程に在籍する一定の要件を満たす生徒に対し、教科書・学習書を給与した。																																																
					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">定 時 制</th><th colspan="3">通 信 制</th></tr> <tr> <th>人數</th><th>冊数</th><th>金額</th><th>人數</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取緑風</td><td>人 6</td><td>冊 39</td><td>円 30,563</td><td>人 4</td><td>冊 32</td><td>円 24,870</td></tr> <tr> <td>倉吉東</td><td>12</td><td>94</td><td>61,970</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>米子東</td><td>6</td><td>38</td><td>25,765</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>米子白鳳</td><td>4</td><td>35</td><td>24,095</td><td>6</td><td>69</td><td>70,680</td></tr> <tr> <td>計</td><td>28</td><td>206</td><td>142,393</td><td>10</td><td>101</td><td>95,550</td></tr> </tbody> </table>	区分	定 時 制			通 信 制			人數	冊数	金額	人數	冊数	金額	鳥取緑風	人 6	冊 39	円 30,563	人 4	冊 32	円 24,870	倉吉東	12	94	61,970				米子東	6	38	25,765				米子白鳳	4	35	24,095	6	69	70,680	計	28	206	142,393	10	101	95,550
区分	定 時 制			通 信 制																																																	
	人數	冊数	金額	人數	冊数	金額																																															
鳥取緑風	人 6	冊 39	円 30,563	人 4	冊 32	円 24,870																																															
倉吉東	12	94	61,970																																																		
米子東	6	38	25,765																																																		
米子白鳳	4	35	24,095	6	69	70,680																																															
計	28	206	142,393	10	101	95,550																																															
中学校のための高等学校理解促進事業	1,000,000	846,930	0	153,070	県定時制通信制教育振興会に対する助成 補助金：177千円 中学生の高等学校に対する理解促進を図り、高校入学時のミスマッチの防止を図った。																																																
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="3">実 績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導資料 「輝け！夢」の作成</td><td colspan="3">県内中学校の2年生全員に配布 7,400部</td></tr> <tr> <td>中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)</td><td colspan="3">県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時季：夏季休業中等において各高等学校が期間設定</td></tr> </tbody> </table>	区分	実 績			進路指導資料 「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,400部			中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時季：夏季休業中等において各高等学校が期間設定																																						
区分	実 績																																																				
進路指導資料 「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,400部																																																				
中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時季：夏季休業中等において各高等学校が期間設定																																																				
鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業	17,473,000	9,220,558	0	8,252,442	グローバル化に対応できるよう留学など海外体験の支援のための取組、柔軟な思考力や豊かな表現を持ち国際社会で活躍する人材を育成するための取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・世界で学ぶ！高校生海外体験推進事業 ・海外勤務経験者等派遣事業 ・高校生海外体験・海外留学支援事業 ・高校生海外留学・海外派遣説明会 ・高校生英語キャンプ ・英語力等外国語能力強化のための拠点校事業 ・高校生英語弁論大会 																																																

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
新時代を拓く学びの創造プロジェクト	12,597,000	2,915,836	0	9,681,164	<p>本県高校生の学力向上に係る事業を次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業改革の推進を図る研修 高等学校等の教員を対象に、授業力の向上と授業改革を進める視点及び実践力を養成し、授業改革の推進者を育成するための研修を実施した。 [学習理論研修：5回] 学力向上のための講師派遣 生徒の学習意欲の向上や授業改革などの取組を進めている高等学校に、研究者や実践者などを講師として派遣することにより、各学校の取組をより一層推進した。[実施校：24校]
(主)英語教育推進事業	1,952,000	229,960	0	1,722,040	
(主)ICTを活用した学習環境の研究	14,708,000	14,413,890	0	294,110	
特例教育課程による地域研究事業（教育研究開発事業）	1,316,000	571,639	0	744,361	県立高校1校を文部科学省の研究指定開発校に指定し、将来の地域を支える人材を育成するための地域に関するとの教材化等、新しい教育課程の研究開発を行う。 指定校：岩美高等学校
指導方法の工夫改善に関する実践研究（教育課程研究指定校事業）	359,000	172,300	0	186,700	新学習指導要領の実施を踏まえた教育課程の編成、指導方法等の工夫改善を中心とする生徒の学習意欲を向上させる授業づくりに関する実践研究を、県立高校1校で行う。 指定校：鳥取商業高等学校
文化芸術活動支援事業	52,310,000	36,898,069	0	15,411,931	高等学校文化部に対して支援を行うことで、文化部活動の活性化を図るとともに、全国高等学校総合文化祭及び国民文化祭をとおして醸成された文化芸術活動への機運を高め、県内文化芸術活動の後継者となる高等学校の文化部生徒の育成を図った。

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																			
文化芸術活動支援事業 (つづき)																								
区分		実績																						
外部指導者招へい事業 (学校裁量予算で実施)		文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。																						
合同練習会等支援事業		全国高等学校総合文化祭に合同で出場する部門について、一同に集まって練習した。																						
備品整備事業		桶太鼓(郷土芸能)やバスクラリネット(吹奏楽部)など日常の活動に必要な備品を整備した。																						
県高等学校文化連盟への助成		ア 全国高等学校総合文化祭(長崎)派遣費補助 イ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助 ヲ 近畿高等学校総合文化祭(三重)派遣費補助																						
文化部パワーアップ事業		近畿高等学校総合文化祭鳥取大会に向けて、中学校と連携して文化部活動のレベルアップを図るため、県高等学校文化連盟及び県吹奏楽連盟に経費を補助した。 ・他県の優秀指導者による生徒への指導 ・楽器等の備品整備 ・全国レベルの指導者養成のため、研修に派遣 ・中学校と高等学校との合同練習会の実施																						
高校生マナーアップ推進事業	100,000	100,000	0	0	高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るために、あいさつ運動等を実施した。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施期間</th> <th>参加人数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H25.4.16~19</td> <td>約4,200人</td> <td>①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H25.9.10~13</td> <td>約4,700人</td> <td>②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>H26.2.6~7</td> <td>約1,100人</td> <td>③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td><td>約10,000人</td><td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	実施期間	参加人数	活動内容	第1回	H25.4.16~19	約4,200人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ	第2回	H25.9.10~13	約4,700人	②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導	第3回	H26.2.6~7	約1,100人	③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動	計		約10,000人	
区分	実施期間	参加人数	活動内容																					
第1回	H25.4.16~19	約4,200人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ																					
第2回	H25.9.10~13	約4,700人	②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導																					
第3回	H26.2.6~7	約1,100人	③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動																					
計		約10,000人																						
定通教育充実事業	3,321,000	1,587,978	0	1,733,022	定時制・通信制に在籍する生徒を対象に、集団での生活体験や社会体験活動を実施した。 ・山陰海岸ジオパークでの宿泊研修 ・老人ホームでのボランティア体験 ・卒業生を囲んでの座談会 ・講師を招いての茶道体験 ・サツマイモ栽培等の自然体験など																			

事業名	予算額	支出額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
まんが王国とつとり応援団事業	6,420,000	3,999,272	0	2,420,728	<p>「まんが王国とつとり」を盛り上げるために発足した「高校生まんが王国とつとり応援団」の活動を継続して実施し、まんが王国とつとりを支える人材の育成を図るとともに、応援団の活動を通じて、高校生の文化活動の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まんがの描き方ワークショップ ・まんがコンテスト ・まんが甲子園への出場(参加) ・韓国高校生との交流(江原アニメーション高校 k 訪問) ・デジタルハリウッド米子校との連携 <p>応援団参加人数：12校、99名</p>
いじめ問題支援事業	9,255,000	8,319,720	0	935,280	<p>生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じるための資料とするため、全県立高校で心理検査hyper-QUを実施した。</p> <p>また、教員を対象に、心理検査hyper-QUの活用方法やケーススタディの研修を実施した。</p>
生徒と社会がつながる教育推進事業	1,125,000	295,920	0	829,080	学校が専門機関と連携することで、生徒が主体的に社会と関わる態度を育てるとともに、社会参画の意識を高める。例として、県立高校1校をモデル校に指定し「模擬投票」を実施した。
(主)高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク事業	2,514,000	388,884	0	2,125,116	
(主)地域と連携した高等学校の魅力づくり推進・支援事業	1,390,000	381,260	0	1,008,740	
目 計	279,286,000	210,623,301	0	68,662,699	
合 計	364,976,000	290,515,121	0	74,460,879	

9 予備費の充用調べ

該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 繼続費遞次繰越調べ
該当なし

(2) 繰越明許費調べ
該当なし

(3) 事故繰越調べ
該当なし

1.1 収入証紙取扱額調べ

収入科目目		件数	単価(円)	証紙はりつけ額(円)	備考
項目	教育手数料	全 日 制 高 等 学 校 入 学 料 細 节	4,043	5,550	22,438,650
	定時制高等学校入学料	101	2,050	207,050	
	通信教育入学料	63	480	30,240	
	入学選抜手数料	4,635		10,006,200	
	証明書発行手数料	6,343		2,665,150	
		15,187		35,347,290	
	計 (教育手数料)	15,187		35,347,290	
本府執行分計 (教育手数料)				0	
出納機関執行分計 (教育手数料)					
目　　計				35,347,290	
合　　計				35,347,290	

1.2 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金該当なし

(2) 使用料

収入科目目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
項目	節	細節						
本府執行分計 (教育使用料)		0	0	0	0	0		
教育使用料 授業料	高等学校全日制授業料	372,000	2,000	0	370,000	鳥取県立高等学校授業料等徴収年度調定期分 370,000円		
出納機関執行分計 (教育使用料)	高等学校授業聴講料	22,560	22,560	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収年度調定期分 370,000円		
目　　計		394,560	24,560	0	370,000			
合　　計		394,560	24,560	0	370,000			

(3) 手数料

(単位：円)

受入科目目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考	
教育手数料	教育手数料	全日制高等学校入学料	4,043	22,438,650	22,438,650	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例		
		定期制高等学校入学料	101	207,050	207,050	0	0			
		通信教育入学料	63	30,240	30,240	0	0			
		入学選抜手数料	4,635	10,006,200	10,006,200	0	0			
		証明書発行手数料	6,347	2,667,750	2,667,750	0	0	鳥取県手数料徴収条例		
計(教育手数料)			15,191	35,349,890	35,349,890	0	0			
本庁執行分計	教育手数料	(教育手数料)	15,191	35,349,890	35,349,890	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例		
		入学選抜手数料	2	4,400	4,400	0	0			
		証明書発行手数料	356	152,350	152,350	0	0	鳥取県手数料徴収条例		
出納機関執行分計(教育手数料)			358	156,750	156,750	0	0			
目計			15,549	35,506,640	35,506,640	0	0			
合計			15,549	35,506,640	35,506,640	0	0			

(4) 財産収入

該当なし

(5) 寄付金

該当なし

(6) 諸収入

目	科 目 節	科 目 細 節	件 数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備 考
雑入	雜入	非常勤職員等雇用保険料 本人負担分 JETプログラム中途退職者に 係るJET障害保険料負担金の 返納	24	15,928	15,928	0	0		
		科学の甲子園鳥取県代表選 考に係る経費	1	6,690	6,690	0	0		
		平成25年度高等学校就学 支援金事務費交付金	1	93,266	93,266	0	0	科学技術振興機構	
		本庁執行分計(雜入)		203,559	203,559	0	0		
雑入	雜入	非常勤職員等雇用保険料 本人負担分 過年度非常勤職員報酬等過 払い分 過年度非常勤職員通勤割増 報酬誤支給分返納 外国语指導助手所得税還付 金		1,194,740	1,194,740	0	0	各県立高校	
				50,159	50,159	0	0	鳥取緑風高校 倉吉農業高校 鳥取東高 鳥取吉総合産業高校 境高校	
		個人情報開示費用負担金		14,080	14,080	0	0		
		出納機関執行分計(雜入)		50	50				
		目 計		1,741,419	1,741,419	0			
		合 計		1,944,978	1,944,978	0	0		
				1,944,978	1,944,978	0	0		

(7) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

収入科目(節)	収入済額	備 考
教育手数料	2,600	証明書発行手数料
合 計	2,600 (4件)	

(単位：円)

イ つり銭の状況
該当なし

13 税外収入未済額調べ

収入科目	区分	過年度						現年度						
		前年度以前か 前年の総 額から の繰 越額	左のう ちの收 入額	不納 欠損額	収入 未済額 A	収入未済額の調定年度内 以前	20年度	21年度	22年度	調定額	収入済額	収入未済額 B	収入 未済額 計	未収 理由
本庁執行分計 (教育使用料)	節 細節	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	A + B	0
教育手数料 教育手数料 全日制授業料	372,000	2,000	0	370,000	0	0	0	0	0	0	0	0	370,000	滞納
出納機関執行分計 (教育使用料)	372,000	2,000	0	370,000	370,000	0	0	0	0	0	0	0	370,000	
目 計	372,000	2,000	0	370,000	370,000	0	0	0	0	0	0	0	370,000	
合 計	372,000	2,000	0	370,000	370,000	0	0	0	0	0	0	0	370,000	

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収入科目			債権管理 事務取扱 要領の作 成の有無	取り組み状況	取り組み効果					
目	節	細節			H24年度 収入額 B 円 2,000		未収額 A-B=C 円 370,000	H25新規 未収金額 D 円 0	H25末 未収金額 C+D 円 370,000	
教育使用料	授業料	全日制高等 学校授業料	無	<p>回収困難事案については、財源確保推進課債権管理担当に引継ぎをしている。 〈引継ぎ事案〉 鳥取湖陵高校 2名分 いずれも H14~16 年度分</p> <p>(案件 1) 電話・文書 ・自宅訪問等を行ったが連絡が取れず、法的措置の検討をしている。 25 年度末の未納額は 190,000 円</p> <p>(案件 2) 電話による督促・面談を行った結果、平成 23 年 3 月に返済計画書が提出された。 25 年度中に 2,000 円が納付され、現在の未納額は 180,000 円</p>	未収金の状況					

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	債務負担行為の期間			執行(支出)状況		備考
		議決	期間	限度額		24年度までの執行額	25年度執行額	26年度以降の執行予定額	計B	合計A+B	
平成24年度外国語教育改善指導費	その他(報酬・共済費)	平成24年3月	25年度	28,667,000	-	70,768,557	-	28,120,901	-	98,889,458	出納機関で執行
平成25年度外国語教育改善指導費	その他(報酬・共済費)	平成25年3月	26年度	28,130,000	-	-	-	-	28,130,000	28,130,000	出納機関で執行
平成24年度県立学校勤務時間管理システム賃借料	借上料	平成24年3月	25年度から29年度まで	4,464,000	4,840,920	484,092	-	968,184	3,388,644	4,356,828	4,840,920
平成25年度県立学校勤務時間管理システム賃借料	借上料	平成25年3月	26年度から30年度まで	4,087,000	4,319,280	575,904	-	-	3,743,376	3,743,376	4,319,280
平成26年度県立学校勤務時間管理システム賃借料	借上料	平成26年3月	27年度から31年度まで	4,585,000	3,985,200	-	-	-	-	-	-
平成25年度IC技術活用協調学習研究委託	委託料	平成25年3月	26年度	2,675,000	17,307,722	14,413,890	-	-	2,600,000	2,600,000	17,013,890
平成26年度岩美高学校タブレット端末等賃借料	借上料	平成26年3月	27年度から28年度まで	3,624,000	-	-	-	-	-	-	出納機関で執行
平成26年度学校タブレット端末賃借料	借上料	平成26年3月	27年度から29年度まで	5,102,000	-	-	-	-	-	-	出納機関で執行
合計		81,334,000	30,453,122	86,242,443	-	29,089,085	37,862,020	62,594,277	153,193,548		

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

予算科目 (目)							予算額	区分	負担金の名称	支 出 先	負担率	支 出 月 日	支 出 金 額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含 む)	備 考
教育連絡調整費	120,000	単県	鳥取大学授業料	国立大学法人 鳥取大学	定額	25.4.24	120,000	鳥取大学学生等の授業料その他費用の額及びその徵 収方法を定める規則							
	535,800	単県	兵庫教育大前期授 業料	国立大学法人 兵庫教育大学	定額	25.4.30	535,800	国立大学法人兵庫教育大学授 業料その他の費用に関する規程							
	536,000	単県	兵庫教育大後期授 業料	国立大学法人 兵庫教育大学	定額	25.10.29	535,800	国立大学法人兵庫教育大学授 業料その他の費用に関する規程							
	282,000	単県	兵庫教育大入学料	国立大学法人 兵庫教育大学	定額	26.3.25	282,000	国立大学法人兵庫教育大学授 業料その他の費用に関する規程							
	282,000	単県	兵庫教育大入学料	国立大学法人 島根大学	定額	26.3.24	282,000	島根大学における学生等の授 業料その他の費用に関する規 則							
支出額が10万円 未満のもの												24,000			
本庁執行分計												1,779,600			
出納機関執行分計												979,680			
目 計												2,759,280			
教育振興費	590,000	単県	外国青年傷害保険 料負担金	財) 自治体国 際化協会	定額	25.5.23 25.11.27	114,460	語学指導等を行いう外國 青年招致事業実施要綱							
	1,656,000	単県	外国青年招致事業 に係る人員割会費	財) 自治体国 際化協会	定額	25.4.23 25.11.27	468,850 △17,960	△8,980							
	1,660,000	単県	外国青年新規招致 者渡航負担金	財) 自治体国 際化協会	定額	25.11.27	216,000 1,368,000	同上							
支出額が10万円 未満のもの												65,000			
本庁執行分計												3,366,053			
出納機関執行分計												1,108,444			
目 計												4,474,497			
合 計												7,233,777			

(2) 補助金
予算科目 (教育連絡調整費)
① 国補分
該当なし

(2) 単県分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先 間接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	精算払 精算払 の別	支出 年月日	金額	
第10回中国地区高等学校総合学科等教育研究大会補助金	中国地区高等学校総合学科等教育研究大会実行委員会(青谷高等学校長)	652,832 (補助率:定額) 100,000	25.7.11	—	26.3.27	概算	25.9.5	100,000	第10回中国地区高等学校総合学科等教育研究大会を円滑に実施するため。新規
第10回中国地区高等学校総合学科等教育研究大会への助成			25.7.23	—					
			25.7.24	26.3.13	26.3.13 26.3.26				
鳥取県高等学校家庭クラブ連盟補助金(H11年度)	鳥取県高等学校家庭クラブ連盟成人会長(鳥取湖陵高等学校長)	729,689 (補助率:定額) 614,689	25.4.25	—	26.2.27	概算	25.6.4 26.3.3	685,000 △70,311	家庭クラブ活動を行う生徒に家庭生活の重要性を認識させ、将来の良き家庭設計者としての素地を育成するため。引継続続
各種研究会等の開催、全国大会参加経費の助成、機関誌の発行。			25.4.30	—					
			25.5.7	26.2.18	26.2.19				
鳥取県学校農業クラブ連盟補助金(H11年度)	鳥取県学校農業クラブ連盟成人代表(智頭農林高等学校長)	953,426 (補助率:定額) 709,000	25.4.25	—	26.3.28	概算	25.7.3	709,000	農業クラブ活動を行う生徒に農業の重要性を認識させ、将来の良き農業経営者等としての素地を育成するため。引継続続
各種競技会・発表の開催、会報の発行、全国大会参加経費の助成			25.5.7	—					
			25.5.10	26.3.25	26.3.26				
本庁執行分計								1,423,689	
出納機関執行分計								0	
単県分計								1,423,689	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るもの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。								

予算科目 (教育振興費)

① 国補分

(単位:円)

補助金等の名称	交付先 間接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	精算払 精算払 の別	支出 年月日	金額	
鳥取県高校生海外留学支援補助金(H24年度)	個人(5名)	6,499,645 (補助率:定額) 2,000,000	—	—	25.9.30 外	概算 ・ 精算	25.8.27 外	2,000,000	新規
海外留学経費の補助			25.7.12外	—	—				
			25.7.29	25.8.12 外	25.9.26 外				
本庁執行分計								2,000,000	
出納機関執行分計								0	
国補分計								2,000,000	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るもの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。								

(2) 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先間接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支 出 の 状 況			備 考
			交付申請 年月 日	完 了 年月 日	検 査 年月 日	精 算 払	支 出 年月 日	金 額	
鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会補助金(H11年度) 生徒研修活動、表彰、会員研修、会議費、記念誌発行等	鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会会长	401,572 (補助率：補助対象経費の1/2以下) 177,000	25. 4. 25	—	26. 3. 20	概算	25. 7. 3	177,000	定時制通信制高等学校の生徒が、各種大会や研修会に参加することにより、生徒の学習意欲を高めるため。引続継続
			25. 5. 7	—					
			25. 5. 7	26. 3. 17	26. 3. 17				
鳥取県高等学校文化連盟補助金(H11年度) 全国高総文祭・近畿高総文祭への派遣、県高総文祭の開催	鳥取県高等学校文化連盟会長 (米子西高等学校長)	18,713,426 (補助率：定額) 16,715,023	25. 4. 25	—	26. 4. 9	概算	25. 6. 20	800,000	近畿高総文祭鳥取大会に向けて文化部活動を活性化するため。引続継続
			25. 5. 2	—			25. 7. 16	14,001,000	
			25. 5. 15	26. 3. 26	26. 4. 4		25. 10. 10	9,813,000	
							26. 4. 22	△7,898,977	
鳥取県高等学校文化部振興補助金(H24年度) 指導者招へい、指導者研修への派遣、備品整備	鳥取県高等学校文化連盟会長 (米子西高等学校長)	11,118,572 (補助率：定額) 11,118,572	25. 4. 25	—	26. 4. 9	概算	25. 8. 16	5,499,700	近畿高総文祭鳥取大会に向けて文化部活動を活性化するため。引続継続
			25. 7. 10	—			25. 10. 10	7,737,330	
			25. 7. 29	26. 3. 26	26. 4. 4		26. 4. 28	△2,118,458	
鳥取県中学校文化部振興補助金(H24年度) 中高合同練習会、備品整備	鳥取県吹奏楽連盟会長	1,459,500 (補助率：定額) 1,459,500	25. 4. 25	—	26. 3. 28	概算	25. 10. 23	2,600,000	近畿高総文祭鳥取大会に向けて中学校の文化部と高校の文化部の連携を図るため。引續継続
			25. 9. 4	—			26. 4. 10	△1,140,500	
			25. 9. 20	26. 3. 18	26. 3. 26				
鳥取県高校生海外体験支援補助金(H24年度) 海外体験経費の補助	個人(7名)	3,298,090 (補助率：定額) 1,301,552	—	—	25. 9. 30 外	概算 ・ 精算	25. 8. 27 外	1,301,552	新規
			25. 6. 20外	—					
			25. 7. 30外	25. 8. 31 外	25. 9. 26 外				
本庁執行分計								30,771,647	
出納機関執行分計								0	
単 県 分 計								30,771,647	
表の補足説明			1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るもの当初の年月日である。						
			2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。						

(2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行するもの)
該当なし(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料

予算科目 (目)	委託料の名称 国補県単別の 單県	委託契約の 委託相手方	当初 予定価格		契約 期間		入札等 年月日 (契約金額 年月日)		支出の状況		備考	
			変更 契約 (契約年月日)	最終 (契約年月日)	契約 期間	契約 期間	了 年月日	支 出 年月日	金 額			
教職員人事費	鳥取県立学校時 間外業務管理シ ス業務	(株) 鳥取 県情報セン ター	848,190	(25.4.1) 848,190	25.4.1 ~ 26.3.31	約 間	25.3.19 (免除)	26.3.31	精算	26.4.17	848,190	システムの開発者 及び著作権者であ り、システム内容を 熟知している者であ るため。
	鳥取県立学校休 暇申請・承認管 理業務	(株) 鳥取 県情報セン ター	848,190	(25.4.1) 848,190	25.4.1 ~ 26.3.31	隨	26.4.8					
	鳥取県立学校休 暇申請・承認管 理業務	(株) 鳥取 県情報セン ター	636,090	(25.4.1) 636,090	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.19 (免除)	26.3.31	精算	26.4.17	848,190		
	鳥取県立学校時 間外勤務等管理シ ス業務	(株) 鳥取 県情報セン ター	1,744,575	(25.4.1) 1,744,575	25.4.1 ~ 26.3.31	25.3.19 (免除)	26.3.31	精算	26.4.17	636,090		
	県立学校勤務時 間管理サポート業 務等	(株) 鳥取 県情報セン ター				隨	26.4.8					
	県立学校勤務時 間管理サポート業 務等	(株) 鳥取 県情報セン ター	2,568,447	(25.5.29) 2,568,405	25.5.29 ~ 26.3.31	25.5.13 (免除)	25.7.31	精算	25.8.16	2,568,405	"	
	予定価格が20 万円未満のもの									0		
	出納機関執行分計 目 計									0		
										6,645,450		

予算科目 (目)	国補県別 の単	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初		入札等 年月日 (契約保証金納 等年月日)	支 出 年 月 了 日	支 出 年 月 出 日	金 額	備 考
				予定価格	契約 期間					
				変更 契約 (契約年月日 額)	最終 契約 (契約年月日 額)					
教育運絡調整 費	県立高 等学 校受 取・ 運 用 事務 業務 委託 業務	(株)鳥取 県情報セ ンター	弁護士法人 河本・森法 律事務所	2,548,980	(25.4.1) 2,548,980	25.4.1 ~ 26.3.31 (免除)	25.3.22 26.3.31 (免除)	精算 26.4.23	2,548,980	財務会計システムで 収納の記録管理を行 う必要があり、財務 会計システムの所有 者で本システムの開 発者であるため。
						隨	26.3.31			審査が平成26年 まで係属
予定価格が20 万円未満のもの									0	
本庁執行分計									2,968,980	
出納機関執行分計 目　　計									0	
									2,968,980	

予算科目 (目)	国補県別 の単	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初		入札等 年月日 (契約保証金納 等年月日)	支 出 年 月 了 日	支 出 年 月 出 日	金 額	備 考
				予定価格	契約 期間					
				変更 契約 (契約年月日 額)	最終 契約 (契約年月日 額)					
教育振興費	県立高 等学 校生 海外派 遣事 業	(株)日本旅 行Tis鳥取 支援	一人あたり 300,000 高校生239,800 比率 294,800	300,000	(26.1.28) 一人あたり 高校生239,800 比率 294,800	26.1.28 ~ 26.3.31 (免除)	26.1.10 26.3.23 (免除)	精算 26.5.1	4,445,800	
						隨	26.4.21			

(単位：円)

予算科目 (目)	国補県別	委託料の名称	委託契約の 委相手方	当初		契約		入札等		支出の状況		備考
				予定価格	(契約年月日)	契約期間	契約期間	入札年月日 (契約保証金納付 年月日)	了支年月日	金額	額	
				変更	(契約年月日)	最終	契約期間	契約形態	履行検査日	額	額	
教育振興費 (つづき)	単県	「高校生まんが応援団」とデジタル教材開発事業	デジタルハルド株式会社	600,000	(25.8.7) 461,958	25.8.7 ~ 25.8.12	25.7.22 (免除)	25.10.30	精算	26.5.15	461,958	
	単県	「高校生まんが応援団」韓国江原道訪韓に係る業務委託	(株)日本旅行Tis鳥取支援	960,000	(26.1.31) 618,000	26.1.31 ~ 26.3.28	26.1.30 (免除)	26.3.28	精算	26.4.28	765,000	
	単県	「いいじめ問題に対する対応策事業」に係るhyper-QU実施業務	(株)図書文化社	8,865,000	(25.4.17) 500円/人	25.4.17 ~ 26.3.31	見積書省略 (免除)	25.8.6 26.3.17	精算	25.10.2	4,166,500	hyper-QUを実施できるのは(株)図書文化社のみのため
	単県	ICTを利用した学習環境の開発実践研究業務	国立大学法人静岡大学	17,307,722	(25.4.23) 17,307,722	25.4.23 ~ 27.3.31	25.4.5 (免除)	26.3.31	精算	25.6.12	14,707,722	債務負担行為
		予定価格が20万円未満のもの									0	
		本庁執行分計									28,357,148	
		出納機関執行分計									0	
		目計									28,357,148	
		合計									37,971,578	

(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）

予算科目 (目)	国補単県の別	委託料の名称	委託契約の相手方	当	初	契約	入札等	支出の状況	備考
				予定価格	(契約年月日)	契約期間	年月日 (契約認定金附 等年月日)	支出处年月日	
				変更契約	(最終)	契約期間	契約形態	区分年月日	
高等学校総務費									
予定価格が20万円未満のもの								0	
本庁執行分計								0	
出納機関執行分計								640,560	学校医委託 岩美高 倉吉農業高
目　　計								640,560	
合　　計								640,560	

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）

該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却等

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動産（船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機）

該当なし

キ 物権

該当なし

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

該当なし

(2) 金券類の受払状況

(平成26年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手 及び 郵便はがき	円 4,210	円 31,060	円 22,430	円 12,840	
収入印紙	0	0	0	0	
タクシーク ーポン券	0	0	0	0	
図書カード	0	0	0	0	
合 計	4,210	31,060	22,430	12,840	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成26年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
14 枚	0 枚	7 枚 9,900 円	7 枚

(3) 基 金

該当なし

(4) 債 権

(平成26年3月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				本 年 度 末		備 考	
			増		減					
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数		
外国語指導助手の宿舎 借上に係る敷金	円		円		円		円			
	141,000	1					141,000	1	鳥取東高校	
	147,000	1					147,000	1	鳥取西高校	
	147,000	1					147,000	1	鳥取商業高校	
	110,000	1					110,000	1	鳥取工業高校	
	147,000	1					147,000	1	鳥取湖陵高校	
	231,000	3					231,000	3	青谷高校	
	156,000	1					156,000	1	岩美高校	
	294,000	2					294,000	2	八頭高校	
	106,000	1					106,000	1	米子東高校	
	100,000	1					100,000	1	米子西高校	
	104,000	1					104,000	1	米子高校	
	118,000	1					118,000	1	境高校	
	118,000	1					118,000	1	日野高校	
			141,000	1			141,000	1	鳥取北中学校	
			100,000	1			100,000	1	境三中学校	
合 計	1,919,000	16	241,000	2			2,160,000	18		

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土 地

該当なし

イ 建 物

該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）

該当なし

21 借受不動産明細調べ

該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

2 5 備品の処分状況調べ

該当なし

2 6 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

2 7 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

該当なし

(2) 償還状況

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

該当なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

該当なし